



プロ改組50周年
「挑」



花と緑と音楽の
おもてなし



U3しま
国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL

広島交響楽団

2022「平和の夕べ」コンサート

マラー 交響曲第3番ニ短調

Mahler: Symphony No.3 in D minor



©大杉隼平



©R&G Photography

指揮：クリスティアン・アルミンク
Conductor: Christian Arming

メゾ・ソプラノ：藤村実穂子
Mezzosoprano: Mihoko Fujimura

東京混声合唱団
The Philharmonic Chorus of Tokyo

エリザベト音楽大学合唱団
Elisabeth University of Music Choir

ひろしまオペラルネッサンス合唱団
Hiroshima Opera Renaissance Chorus

NHK広島児童合唱団
NHK Hiroshima Children Chorus

コンサートマスター：三上亮、蔵川溜美
Concertmaster: Ryo Mikami, Rumi Kurakawa



2022.8/5 金

18:45開演 (17:45開場)

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Fri August 5, 2022 Start 18:45 [Open 17:45]

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

- ◆チケット発売日/2022年6月6日(月)
- ◆チケット料金/S席:5,000円 A席:4,000円(学生:2,000円)
※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取り扱い) ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※この度の公演におきましては途中休憩がございません。※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

- ◆プレイガイド/JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局、チケットぴあ(Pコード208-446)、ローソンチケット(Lコード62886)

- 主催/広島市、公益財団法人広島市文化財団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

広島交響楽団

2022「平和の夕べ」コンサート

夏のシンフォニー〈平和への想い、未来へ〉

楽団の首席客演指揮者を務めるクリスティアン・アルミンクは「平和の夕べ」に3度目の出演となるが、過去2回ともマーラーを取り上げている。マーラーの交響曲には常に「生と死」の葛藤が内包されているが故であろう。

そして今回演奏する「第3番」は夏の交響曲として季節にも寄り添うが、各楽章にもそれぞれ標題が付けられ、

夏の到来（行進）から野の花々や動物たちといった自然への賛美、「夜の歌」を藤村実穂子が、

「天使の歌」を合唱が歌い継ぎ、最後はこの世界を包み込む壮大なる「愛」で締めくくる。

過去の忌まわしい出来事から目を背けることなく、復興した美しい広島と、未来永劫「平和」を願う、

想いの詰まった演奏に全てを委ねて聴こうではないか。



首席客演指揮者

クリスティアン・アルミンク

Conductor : Christian Arming

Profile

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年からは、広島交響楽団の首席客演指揮者を務めている。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年には小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演を指揮した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス/交響曲第1番、マーラー/交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク/交響曲二短調などをリリース。2018年にはリエージュ・フィルとシルバ・オクテットの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。



メゾ・ソプラノ

藤村実穂子

Mezzosoprano : Mihoko Fujimura

Profile

ヨーロッパを拠点に国際的な活躍を続ける、日本を代表するメゾ・ソプラノ歌手。

主役級としては日本人で初めてバイロイト音楽祭にデビューし、フリッカ、クンドリ、ブランゲーネ、ワルトラウテ、エルダなどの主役で9シーズン連続出演。ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン国立歌劇場、パリ・シャトレ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ドレスデン国立歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ヴェローナ歌劇場、バルセロナ・リセウ歌劇場、ザルツブルグ祝祭大劇場等に出演の他、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン響、ロンドン・フィル、パリ管、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、スイス・ロマン管等の世界的なオーケストラ、ティーレマン、アッパード、メータ、エッシェンバッハ、シャイー、ヤンソンス、ネルソンス、ネゼ＝セガン、ガッティ、ドウダメル等の著名指揮者とも共演している。

またブランゲーネ役でプラシド・ドミンゴとのCD録音「トリスタンとイゾルテ」(EMI社)でも各方面より注目を浴びた。

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院及びミュンヘン音楽大学大学院修了。'02年出光音楽賞、'03年芸術選奨文部科学大臣新人賞、'07年エクソンモービル音楽賞、'13年サントリー音楽賞、'14年紫綬褒章をそれぞれ受賞。